

**D分科会：『これからの中・高校生のスポーツ活動』 - 学校と連携する -**

スポーツ少年団においては中・高校生の団員の確保および小中高一貫指導などの課題が、そして中学校・高等学校現場においては少子化や顧問教員の減少・高齢化による運動部活動の統廃合などの問題が全国的に多くみられ、今後より一層この状況は進展し、青少年のスポーツ環境を豊かなものにするには「スポーツ少年団活動」と「学校運動部活動」との連携が不可欠となる。そこでスポーツ少年団と学校運動部との連携について、具体的な方策が協議された。

「中・高校生の継続活動育成実験事業」対象地区で規模の異なる地域の事例と中体連からみた学校運動部活動の現状について報告いただき、共通して言えることは、お互いをあまり理解していないこと、共通認識が取れるような努力が足りないことであった。今後、具体的に協議会などの設定や相互視察を実施することなどがあげられた。

学校とスポーツ少年団すなわち体育とスポーツの違いの再認識や学校側がスポーツ少年団指導者への理解を高める、スポーツ少年団から外部への働きかけを行う等の提案がなされ、スポーツ少年団の社会的認知を高める必要性があるとまとめた。